

臨床研究に関する情報公開

福井大学医学部附属病院集中治療室では、倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 27 年 12 月 福井大学医学部附属病院 集中治療部

【研究課題名】

ICU における面会時の家族対応の実態調査～家族面会テンプレートを作成して～

【研究期間】

承認日から西暦 2016 年 3 月 31 日

【研究の意義・目的】

集中治療室 (Intensive Care Unite、以下 ICU とする) では、疾病や事故、それに身体的侵襲の大きい手術などにより、重篤な状態に陥った患者が入室し、集中的な治療やケアが行われます。集中治療領域の患者は、生命危機にさらされており、その危機的状态を目の当たりにした家族もまた精神的に動揺し、不安、緊張、恐怖、混乱などをきたし心理的危機状態に陥ることが多いです。そのような家族に対し我々看護師は、ケアを提供し家族を支援しなければなりません。危機介入には、時間的制約があり、早期に適切に介入することで信頼関係を築き他者の支援により精神的苦痛を軽減し、危機回避ができると言われていています。

本研究は、集中治療室における面会時テンプレート記録から家族の心情や看護介入を時系列で調査することで ICU 入室患者家族の心情を明らかにし、看護介入時期や介入方法の示唆を得ることを目的とします。面会時の家族の心理を把握し看護介入するために面会テンプレートを作成しました。この面会テンプレートを入力した結果から、家族の状況や看護介入を振り返ることで今後の家族看護介入の質向上につなげたいと考え、本研究に取り組みました。

【研究の方法】

対象期間に入室していた患者診療記録から、入室時状況 (緊急入室か予定入室か)・性別・年齢・入室期間・転帰・家族の看護計画の有無、面会テンプレート内容を調査します。

【対象者】

面会テンプレート作成後の 2014 年 9 月から 2015 年 5 月に入室した全患者 374 名

【倫理的配慮】

倫理審査委員会の承認を得て実施します。調査対象となる患者のカルテから看護記録を読み取りますが、分析する際には患者名を出さず、匿名性として患者が特定されないようにします。又、情報の取り扱いには特定の USB を使用し鍵のかかる場所に保管します。研究終了後はデータを破棄します。

【研究組織】

福井大学医学部附属病院 看護部 集中治療部 看護師 田中裕生子

〃	〃	〃	看護師長	高山裕喜枝
〃	〃	〃	看護師	松永春美
〃	〃	〃	看護師	片山静
〃	〃	〃	看護師	宮下智樹

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究は、診療情報を匿名化して取り扱い、個人情報を厳重に保護して行います。なお、本研究に関するお問い合わせの患者さん、または診療情報の使用に関して同意頂けない患者さんはいつでも構いませんので、お手数ですが下記問い合わせ先までお知らせください。

○問い合わせ窓口

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学医学部附属病院 集中治療部 田中 裕生子

電話番号：0776-61-3111（代表） 内線：6061

○苦情の窓口

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学 総務部 松岡キャンパス総務室 学術支援係

電話番号：0776-61-8614 FAX：0776-61-8153